

消防庁無償貸付車両「救助資機材搭載型消防ポンプ自動車」展示訓練の消防庁次長視察

札幌市南消防団

札幌市南消防団では、平成26年12月から消防庁無償貸付車両「救助資機材搭載型消防ポンプ自動車」の運用を開始し、平成27年6月30日（火）まで交通救助及び建物火災に7件出動しております。

平成27年度札幌市南消防団消防総合訓練大会に消防庁次長を来賓としてお招きし、同車両積載の救助資機材を活用した救助及び常備消防と連携した消火を行う応用訓練の展示を行いました。



幼年消防クラブ員による〔防火七夕〕を実施

有田川町消防本部

清水消防署は、毎年、七夕を前に幼年期の防火意識の高揚を図ることを目的に、昭和63年から幼年消防クラブの行事の一環として、防火・防災の啓発活動を行っています。今年も7月1日（水）に清水保育所の園児が講話や防災ビデオを鑑賞し、火の怖さなどを学び、「絶対に火遊びはしません」と防火の誓いを書き込んだ短冊を笹竹に飾り付けました。美しく飾り付けられた笹竹は、同所に展示され、多くの人達に防火を呼びかけています。



消防通信

望

楼

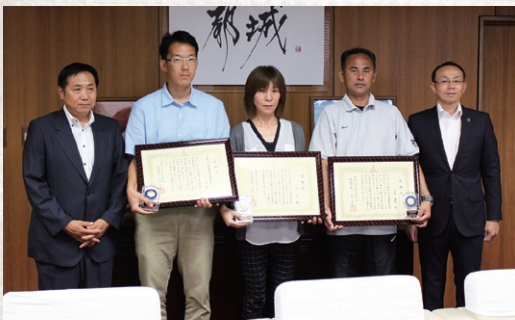
ぼうろう

勇気ある行動に感謝状を贈呈

都城市消防局

平成27年6月8日（月）、都城市役所市長室において、部活動中に卒倒し、心停止に陥った男子生徒を迅速・適切な救命活動により救った、1団体及び個人2名の方に感謝の意と勇気ある行動に敬意を表し市長から感謝状を贈呈しました。受賞者は、過去に数回の応急手当講習を受講していたことが今回の行動に繋がったと述べていました。男子生徒は、退院後、学校生活に復帰しています。

都城市消防局では、今後も救命率の向上に向けて応急手当の普及啓発に取り組んでいきます。



平成27年度危険物安全週間に伴う消防訓練を実施

相模原市消防局

相模原市北消防署では、6月7日（日）から13日（土）まで行われる危険物安全週間に伴い、スリーボンドファインケミカル株式会社（相模原市緑区大山町1-1）と合同で危険物災害を想定した訓練を、当該施設を使用し実施しました。

訓練には、当事業所の自衛消防隊40名をはじめ、従業員240名の参加で屋内消火栓を使用しての初期消火、119番通報及び避難誘導など災害発生時の初期活動の対応を確認しました。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】